

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2017年12月号

第4回定例会(12月市議会)が閉会

12月14日、本会議で提出議案の審議経過・結果の各常任委員長報告、質疑、討論がおこなわれ、市議会は閉会しました。



(質疑をおこなう福間)

論をおこないました。

また大分市農業委員会委員の任命について、女性委員の任命がないことについて、質疑をおこないました。

党議員団は、ゴミ有料化3億8,900万円、大分市中心市街地祝祭広場整備事業費の用地購入費など23億5,900万円。横尾公共団体区画整理事業費1億4,000万円の予算計上に反対討

「祝祭広場」事業、23億5,900万円

自民・社民・公明などの賛成多数で可決
党市議団は以下の理由でキッパリと反対しました。

■地購入費の取得価格に納得できない

市民感情としては12億円で取引実績がある用地を23億2千万円で取得することは、どうしても納得できない。

■契約の在り方が問われている

大分パルコ跡地の土地取得面積は、5,000平方メートル以下ではあるが、予定価格の116倍に当たります。はじめて民間の競争入札に参加しての土地取得という特殊性も考慮するならば、当然、議会の議決に付すべきである。

■財政調整基金積立金処分の妥当性に疑問



(土地取得問題を質す福間)

「祝祭広場」としての取得は、財政調整基金積立金を処分する妥当性に疑問がある。

■市民の理解と納得が不十分

インターネット上の「パルコ跡地に市が祝祭広場」をつくることに賛成か、反対かのアンケート結果は賛成の実に3・4倍の方が反対しているなど、当初の懸念どおり市民の理解と納得が不十分。

引き続き、この問題については、注視し、問題提起をしていく考えです。

財政調整基金積立金の処分は、経済事情の著しい変動等により財政が著しく不足する場合などに処分するものである。同土地取得の本来目的や計画はなし、緊急性も認められない。臨時的なワールドカップの

市内JR8駅無人化撤回を、大分市議会もJR九州へ要望書提出に動く

8月中旬、JR九州が大分市内8駅にSSS(スマートサポーステーション)を導入し駅無人化の方針を示しました。党議員団は、9月市議会で、私が問題の本質を明らかにし、地区党と議員団でJR九州大分支社へ駅無人化撤回を申し入れてきました。



市議会建設常任委員会等で議論となり、すでにSSSを導入している筑豊本線・中間駅への現地視察、大分市主催によるJR九州の説明会の実施などを受け

(JR駅無人化問題を迫及する福間・9月市議会)で、大分市議会も、議長・副議長がJR九州に「SSS導入をやめ、現状維持」を申し入れるまで、発展してきました。市民世論を反映したものです。

党議員団は、JR九州は、交通事業者としての社会的責任を果たせ、市内8駅の無人化を撤回させるために、全力をつくします。

私は、12月市議会では、以下の項目を質問しました。次回に質問要旨について、報告します。

- 1 米の生産費を補償する価格下支え制度
- 2 種子法廃止にともなう対策
- 3 就労継続支援A型事業所利用者への支援
- 4 生活保護・過誤支給処分
- 5 貸付制度の支給対象項目の拡大
- 6 新日鐵住金大分製鐵所の火災の原因究明と再発防止
- 7 大分パルコ跡地の土地取得に伴う契約と財政調整基金積立金の処分
- 8 臨時職員等への交通費の支給と職務内容

下水道汚水施設、市への早期移管を



12月15日、開発団地住民集会にご案内があり参加しました。「住民が力合わせて実現まで頑張りましょう」と激励しました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

